（令２）

国語採点基準

（総点100点）

〔注意〕
1 この配点は、標準的な配点を示したものである。
2 定められた答えの欄に答えが書かれていないときは、点を与えない。
3 指示された答えと違う表現で答えの欄に記入されていても、正答と認められるものには、点を与える。
4 定められた数より多く答えたときは、点を与えない。
5 採点上の細部については、各学校の判断によるものとする。

問題		正答	配点
1	1 (1)	こうけん	2
	(2)	は(える)	2
	(3)	しょうだく	2
	(4)	そむ(ける)	2
	(5)	おもむ(く)	2
	2 (1)	研究	2
	(2)	借(りる)	2
	(3)	似(た)	2
	(4)	負担	2
	(5)	講座	2
	3 (1)	エ	2
	(2)	ア	2
	(3)	ア	2
	(4)	ウ	2
	(5)	イ	2
			30
2	1	かろうじて	2
	2	ウ	2
	3	エ	2
	4	（例）銀貨が三包入った袋の持ち主を長時間探して、拾ったときのまま返したこと。	2
	5	イ	2
			10
3	1	イ	3
	2	あなたにしかない感覚・感情	4
	3	エ	3
	4	ア	3
	5	（例）本当の自分が自己の中にはじめから明確に存在すると思い込んで、それを探している状態。	4
	6	ウ	3
4	1	ウ	3
	2	（例）陸上勤務を少しは喜んでもらえると思っていたのに、妻と娘に反発され気まずくなったから。	4
	3	イ	3
	4	ア	3
	5	（例）息子に航輝と名付けるほど船に乗るのが好きな父が、家族のために船を降りても本当によいのかということ。	4
	6	エ	3
			20
5			20

（評価の観点）

1 形式
目的に応じた適切な叙述であるか。
字数が条件に合っているか。

2 内容
第一段落
・外国人にとってわかりやすい表現にするためにどのような工夫がされているかについて述べているか。
・AとBの中の言葉を比較しているか。
第二段落
・テーマに対して、自分の体験や見聞を踏まえ、自分の考えを明確に表現しているか。

3 表現・表記
文体に統一性や妥当性があるか。主述関係や係り受けなど適切であるか。
語句が適切に使用されているか。誤字・脱字がないか。

※ これらの項目に照らし、各学校の実態に即して総合的に評価するものとする。